

研究課題：肝胆道シンチグラフィ所見と胆道閉鎖症予後の検討

1. 研究の目的

胆道閉鎖症は進行性の胆管障害であり、適切な時期での葛西手術または肝移植が必要となります。肝胆道シンチグラフィは診断に広く用いられていますが、その予後予測における役割は未だ不明なままであります。本研究では、テクネシウム^{99m} N-ピリドキシル-5-メチルトリプトファン肝胆道シンチグラフィにおける肝門部と肝表面の取り込み比が、胆道閉鎖症に対する葛西手術後の予後を予測し得るかどうかを検討します。

2. 研究の方法

2017年1月から2024年12月までに胆道閉鎖症と診断された患者さんが対象となります。

診療録から、患者背景・術後経過など {性別、手術時体重、血液検査所見（総ビリルビン、アルブミン、PT 時間）、肝シンチグラフィ所見、胆道閉鎖のタイプ、手術時日齢、腹腔鏡手術の有無、手術時間、術中出血量、肝移植の有無、減黄の有無、減黄日齢} の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2027年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

核医学検査と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、検査に関する事柄（画像、検査所見、治療方法）を調べまとめます。画像（個人情報を一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがあります、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医員 津坂翔一

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）